

# 浄心寺だより

発行  
浄心寺門信徒会

郵便番号 714-0081  
笠岡市笠岡 2065  
電話 (0865) 62-2623  
FAX (0865) 62-2595  
振替 01260-9-13760  
<http://joshinji.suki-ari.net/>



## 「み法を味わって」(至)

人生は苦2

釈尊は、人間は大きな思い違いをしていると教えてくださいました。その一つが、「苦」の人生を「楽」と思い込んでいるという指摘です。

「苦」とは、人生は自分の思い通りにはいかない、ということなのです。すなわち、思いがけないところで山にぶつかり、予想もしなかったところで谷に遭遇するのが人生である、ということなのです。

ところが人間は、人生は平穩無事にいくはずのものだと思い違いをしているのです。「楽」とは、自分の思い通りにいくということなのです。

このような思い違いを前提として宗教を考えると、仏や神は、平穩無事な人生を実現してくださる方ということになります。また、仏や神は、人生の障害を取り除いてくださる方ということになります。

それで、平穩無事な人生を仏や神に祈り、平穩無事な人生を邪魔するものを、祈祷やお祓いで取り除こうとするのです。

藤田徹文『聞光力』より

## 報恩講法要

十二月五日(土) 十三時半より

講師 三原市徳正寺 徳正 俊平 師

※正午より礼拝堂でお齋をいただきます。どなたでもどうぞ。

# 秋季彼岸会・門信徒総追悼永代経法要



われました。私たちはいくら年を重ねても、次から次へと不安がでてきます。なぜ不安になるのかというと、それは「分からないから」です。この不安が、私たちを迷わせるのです。

本願というのは、そんな私たちを救いたい、という阿弥陀さまの願いです。それを信じることによって、極楽浄土が救いの場所となってくるのです。

九月二十五日午後一時半より、秋季彼岸会および門信徒総追悼永代経法要が勤まりました。

一同で阿弥陀経をお勤めしたのち、ご法話を拝聴。ご講師は三原市大和町、浄楽寺の栗原一乗師。「偲ぶ」ということについてお話しいただきました。漢字からは、故人のことを思う、という意味になります。

お釈迦さまは「人生は苦」と言

夫が病気になる、入院され、奥さんが毎日お見舞いに来られていたそうです。奥さんは看護士さんに、どうして病気が治らないのか、なぜ薬が効かないのか、毎日聞かれたそうです。看護士はその都度、このような薬を投与して、このような症状を抑えているんですよ、と説明するのですが、いつも同じ質問をされます。ある時、担当医の回診時に同じ質問をしたところ、その医師は「おつらいですね」と一言だけ答えたそうです。これ以後、奥さんは質問することはなくなりました。つまり、奥さんは詳しい医学的説明を望んでいたのではなく、自分の気持ちを分かってもう良かったのです。心理学者に

## 法座 虫干し法座 つとまる



虫干し法座が、七月十六日十三時半よりつとまりました。今年も暑さが厳しいため、法物は本堂にお披露目されましたが、法座は礼拝堂にて行いました。

『讃仏偈』をお勤めの後、ご法話を拝聴しました。

ご講師は府中市の慶照寺、田坂英尊師でした。先生には以前、仏教婦人会の記念法話でお越しいたよると、これは問いの本質が何か、という問題だそうです。

私たちの悩みの解決も、本質は阿弥陀さまの願いによつて創られた極楽浄土という場所にあります。確かな場所をいただくという救いを喜び、お念仏申しましよう。

できました。

お寺にお参りしたり、法事の時に正しい仏教の教えに出会ってほしいということ、身近なお話をたくさんしていただきながら、お話しくださいました。

八十四歳のご門徒のおばあちゃん作「今聞いて すぐに忘れる身なれども 胸に六字の 残る嬉しさ」。認知症が進み、いろんなことを忘れるようになったおばあちゃんですが、阿弥陀さまの教えだけは心の支えになり続けていたのです。

親鸞聖人のお書物にある、法然上人の「愚者になりて往生す」という言葉、また十年前に亡くなった、先生の祖父の残した、九条武子さんの言葉「いだかれてありとも知らず おろかにも われ反抗す 大いなるみ手に」。阿弥陀さまの救いに背を向けてきた自分だが、死の間際になるとそのありがたさが身に染みる、ということをお話したものです。

猛暑の中でしたが、よいお聴聞となりました。

川柳

横道に立派な生き方を創る

藤井智史

## やさしい仏教講座

第38回 8月26日(まとめ)

## 『法然上人』



正信偈の「本師源空明仏教 憐愍善悪凡夫人 真宗教證興片州 選択本願弘恵世」をみていきました。意味は「師である源空(法然)上人は、仏教(の教え)を明らかにされ、善人も悪人も(含めたすべての)私たち平凡な人間を深くあわれみなさり、浄土教という真の宗教の教えを世界の片隅の国(である日本)におこされました。「上人自ら」選びとった本願(の教え)を、この悪い世に広められました」

法然は日本仏教の大きな転換を行いました。それまでの日本仏教は「みんなの救いのための教え」(鎮護国家)でしたが、法然の説いた仏教は「個人の救いのための教え」(本来の宗教の姿)でした。

しかし、時代を先取りしすぎていたようで、仏教界から大きな批判が起こります。

個人のための教えという点ではキリスト教も同じで、1549年に日本に初めてキリスト教を伝えたイエズス会宣教師フランシスコ・ザビエルは、神の「愛」を「大切」と翻訳して布教したそうです。

キリスト教では、神が自らの計画のもとに人間それぞれを個性的に創り出したと考えます。神によって与えられた個性なので、人々はそれを大切にします。同様に、他人の個性も大切にします。神は人間を「大切」に考えてくださり、私たちも自分を「大切」にし、他人を「大切」にしなければならぬ。そういう発想がキリスト教圏の人々にはあるのです。

ところが日本では、個人は多くの中の一つにすぎず、全体がよくなるなら少しの犠牲はやむを得ない。自分は取るに足ら



ない多くの中の一人にすぎない、という全く別の考え方をしてきました。

宗教のこうした個人主義は、親鸞聖人の時代になってようやく庶民にまで広がっていきます。

## 『過去帳』

過去帳とは、当家の直系の記録簿であり、俗名、法名、往生の年月日、年齢、続柄を記入します。

故人の情報を住職が書き込むことが多いですが、当家で書き込んでも構いません。その他、当家の由来を記すなど、子孫に残したい事柄を記すこともできます。

また位牌とは違い、礼拝の対象ではありません。自宅で法事をする場合に、故人のページを開いて参列者に見てもらふことはありますが、普段は閉じて仏壇内の中心をずらした場所に置くか、引き出しの中に保管しておきます。



川柳

缶ジュース一缶買いチャラにする

藤井智史

## 報恩講法要の

「お斎」にどうぞ

十二月五日の報恩講法要の日には、正午からお斎の席を設けます。



「お斎(とき)」とは、仏事の際の食事のことです。この日は仏教婦人会の皆さんに調理していただいたお弁当を、法座の前にいただきます。予約は必要ありませんので、ぜひお越しいただき、お楽しみください。

親鸞聖人が好物だったという小豆にちなみ、赤飯が入っています。

## 境内清掃のついでに

毎月十五日に境内清掃に集まっていたいでいます。一時間ほど清掃した後、



お茶をいただいで解散です。

ぜひお誘い合わせされ、ご参加お願いします。具体的な開催日時は、2/15 13時半、3/15 13時半、4/15 13時半、5/15 13時半、6/15 7時半、7/15 7時半、10/15 13時半、11/15 13時半、12/15 13時半からです。1月と8月はお休み、9月は婦人会による清掃奉仕です。

# 門信徒の広場

## 地区委員さん登場



川辺屋南・正寿場 地区

梶平 一平 さん

梶平さんは県道笠岡井原線沿いを流れる隅田川沿いの当地区を、長年にわたり担当されています。古い家屋が密集し、高齢者世帯が多くあります。かつてはにぎわっていましたが、最近では空き家も

目立ち、寂しさを感じます。

平成十四年からは門信徒会の会計も担当されています。

平成二十一年三月に消防組合を退職後、まちづくり協議会など地域の活動にも携わり、特に高校生達と共同した年末年始の笠岡駅前のライトアップ事業では、中心的な役割を担われています。

今後趣味の釣りと家庭菜園を楽しみながら、健康に気を付けてお寺のお手伝いをしていきたいとのこと。  
(高田泰紀 記)

## 仏婦清掃奉仕

九月十二日(土)朝七時半より、仏婦会員総出で清掃奉仕を行いました。お彼岸に向けて本堂や庫裏、境内が、見違えるようにきれいになりました。



## 除夜会・修正会

大晦日二十三時四十分ごろより除夜の鐘を撞きます。引き続き本堂にて、新年のおつとめをします。どうぞお参りください。



## 還浄(げんじょう)

(敬称略)

|       |   |    |     |      |
|-------|---|----|-----|------|
| 吉本 國子 | 6 | 16 | 89  | 東京   |
| 岡本 隆行 | 6 | 22 | 102 | 赤磐市  |
| 藤井 洋子 | 7 | 6  | 84  | 生江浜  |
| 赤田 範経 | 7 | 14 | 91  | 生江浜  |
| 森山 益子 | 7 | 22 | 92  | 鴨方町  |
| 横山 弘  | 7 | 28 | 83  | 吉浜   |
| 吉田 一章 | 7 | 31 | 78  | 大磯   |
| 藤井 敏  | 8 | 9  | 92  | 西大島  |
| 門井 廣子 | 8 | 18 | 85  | 福山市  |
| 信長 義郎 | 8 | 19 | 74  | 岡山市  |
| 山本 東子 | 8 | 22 | 92  | 十一番町 |
| 高草 雅量 | 9 | 10 | 89  | 真備町  |
| 山上 喬  | 9 | 12 | 89  | 樋守   |
| 中野富美子 | 9 | 18 | 91  | 東大戸  |
| 小川 泰之 | 9 | 20 | 81  | 西の浜  |
| 高田 郁子 | 9 | 29 | 89  | 井原市  |

## サマースクール開催!!



七月二十二日、サマースクールが開催されました。近隣各地の小学校より四十九名が参加しました。三次市の善徳寺、長谷川憲寿先生と庄原市正専寺の小滝世信先生が指導に来てくださいました。十時に開会式をしたのち、5班に分かれて近くの商店に買い出しに行きました。買ったのはくん製を作るための食材で、ソーセージ、ちくわ、ベーコン、チーズ、ホテトチップスなど思い思いの食材を買い、くん製にしました。昼食後はゲームをして班ごとに得点を競いました。



夕食後、キャンプファイヤー。暗いお寺の境内で焚き火をたいて歌を歌ったりゲームをしました。最後に花火をしてから、閉会式、解散。子供たちは盛りだくさんの一日に、暑さも忘れ動き回っていました。

た。夜はぐっすり眠れたことでした。子供たちの食事やおやつは、仏教婦人会の方々が調理してくださっていました。



やさしい仏教講座

第39回 10月5日(まとめ)

## 『仏壇のサブスク』

サブスクというのは、月ごとの定額料金で商品を購入することです。ネットでの動画配信などでサブスクをしておられる方も多いのではないのでしょうか。

最近このサブスクで、仏壇、さらには墓地を売り出す業者が出てきました。

ただ、月額にすると安いようで

トット  
ちゃん  
「何のためにするの？」  
「法事は」

浄土真宗の法事は、亡くなった方のために「してあげる」ものではないません。

忙しい日々の中では、私たちは時間を割き手間をかけてまで、あえて仏事をしようとはしません。法事とは、命日をご縁に集まることにより、参列者それぞれが仏教の教えに会わせていただき、しっかりと今を生きておれるか、ということを確認する場なのです。

浄土真宗では多くの他宗派と違い、亡くなるとすぐに、無条件で

ですが、何年もたつと相当な額になりますので、契約の際はしっかりと計算してみることをお勧めします。

「法然上人」

正信偈の「還來生死輪転家 決  
以疑情為所止 速入寂靜無為樂  
必以信心為能入」をみていきまし  
た。意味は「生まれ変わりを繰り返すという考えにとらわれ、苦し

阿弥陀さまの世界、極樂浄土に往生します。故人に対し私たちが心配することはもう何もありません。心配されているのは私たちの方です。そこに気づかせてもらわなければなりません。

亡くなった方をしのび、久しぶりの親戚とも顔を合わせ、命のつながりを感じることでできる機会でありますが、まずは私自身の方へ目を向けてみる場です。

その意味で、  
法事の主役は参  
列者一人ひとり  
です。「法事を  
つとめられない



い人生に縛られてしまふのは」、「浄土往生の教えを」疑つて、「苦しみの状態のままに」とどまつているからである、と明らかにされました。「煩惱が」完全に滅した作爲のない極楽世界に速やかに入ることは、必ず信心によつて入ることが可能になるのです」

親鸞聖人は、この法然上人の影響を最も受け、念仏の教えに帰依されていきました。

## 『聞法の心得』

聞法とは「教えを聞くこと」で、

お盆法要つとまる

八月十四日と十五日、五回に分けてお盆法要が本堂にてつとまりました。

酷暑の中、

同で讃仏偈をお勤めの後、住職によるご法話を拝聴。浄土真宗のお盆の迎え方をお話しいただきました。



◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆  
 ので、お坊さんだけでお経をあげ  
 ておいてください」と言われる方  
 は、今一度法事の意義を考えてみ  
 てください。

「お聴聞」ともいいます。浄土真宗では「聞法が第一」といわれ、大切にしてきました。

浄土真宗の本堂は、他宗派のそれと違い、参拝者の座る外陣が広く作っております。これも、本堂が聴聞の場だからであります。

教えを聞いてこそ信仰なわけですが、そもそも仏教の本来のあり方はそういうものです。法座等にお参りして、しっかりと仏法を聴いていきましよう。

やさしい仏教講座

令和9年の予定

住職による「やさしい仏教講座」の来年の予定です。『なるほど浄土真宗』というテキストに沿って進めています。お誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。毎回14時より。

～ 令和 9 年 ～

|      |           |
|------|-----------|
| 第41回 | 2月8日(月)   |
| 第42回 | 4月8日(木)   |
| 第43回 | 6月8日(火)   |
| 第44回 | 8月23日(月)  |
| 第45回 | 10月5日(火)  |
| 第46回 | 12月13日(月) |





# 浄土真宗の

## あゆみ



### 親鸞聖人の生涯3

#### 造形美にとらわれない信仰

「悪」の時代の到来で社会不安が増大すると、当時展開していた浄土教に往生を求め人びとが傾倒します。浄土教はこの世でいのちを終えたのち、仏の世界に往生生を受ける(往生)と説き、念仏の功德により臨終の時、阿弥陀如来の来迎にあずかり、阿弥陀如来の国土である西方極楽浄土に往生生まれることを主張しました。

特に中流貴族は当初その中心でした。なぜならこの時期、貴族社会では役職・家格が固定し、中流貴族は現世では出世が望めず、来世に希望をかけ往生を求めたからです。その上、当時往生が「奇瑞」の出現がその証の一つと理解されていきました。奇瑞とは臨終時に、異香(この世ではないよい香り)がしたり、音楽が聞こえたり、天から花が舞う、紫雲が立ちのぼる、遺体が腐乱しないなどですが、およそ起こり得ないものばかりでした。

貴族は金銭を使い仏像や堂をつくり、臨終を重視し奇瑞や仏の来迎にあずかろうとしましたが、民衆は金銭をかけられなかったため、大部分の人は往生を願うことさえできなかったのです。そこで登場したのが親鸞聖人でした。聖人は従来の經典の独自の解釈を通して、阿弥陀如来の本願を信ずるところに、そのすくいが成立する、したがって造形美の仏像や臨終での奇瑞・来迎などはたのむ必要はないとの宗教的立場に



到達して、多くの人々にすくいの道を開きました。聖人が名号(「南無阿弥陀仏」などの仏名を記したもの)を本尊としたことは、まさに浄土真宗の独自性を明確に表すものでした。

仏像の造形美に目を奪われ、奇瑞や来迎を期待する仏教的立場では、限られた人びとしかすくわれません。このところから考えれば、聖人のような専修念仏の教えの登場は画期的であったのです。

『み教えと歩む』より

川柳

天に舞う踏切板は父母でした

藤井智史

編集後記

味覚の秋、スポーツの秋、益々ご健勝のことと存じます。

七月の虫干し法座、サマースクール、お盆法要、秋季彼岸会等のご報告と、今後の報恩講法要、やさしい仏教講座、除夜会、新春のつどい等をご案内する第一五七号をお届けします。

これから寒さに向かいますが、御身おいたわりくださいますよう。

(釋賢大)

## 新春のつどい

一月二十二日(金) 正午より  
参加費 2500円



恒例の新年の互礼会です。文化等同好会の等の弾き初めにはじまり、カラオケや飛び入りの出し物等、それぞれの得意芸が披露されます。恥ずかしがり屋の方は見物を十分に楽しんでください。参加者減少のため今年で最後になります。どうぞお誘いあわせご参加ください。締切りは一月十五日。

### 令和9年(2027年)年回表

| 年回忌  | 往生年   | 主な出来事             |
|------|-------|-------------------|
| 1周忌  | 令和8年  | アメリカがイランに軍事攻撃     |
| 3回忌  | 令和7年  | 大阪・関西万博           |
| 7回忌  | 令和3年  | 東京オリンピック          |
| 13回忌 | 平成27年 | イスラム国が日本人2人を殺害    |
| 17回忌 | 平成23年 | 東日本大震災            |
| 25回忌 | 平成15年 | 久米宏がニュースステーションを降板 |
| 33回忌 | 平成7年  | 地下鉄サリン事件 阪神淡路大震災  |
| 50回忌 | 昭和53年 | 日中平和友好条約調印        |